

平成24年度重点戦略マネジメントにより検討した 平成25年度に向けた取組について

県では、県政の基本指針である栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の着実な推進を図るため、様々な取組を行っているところですが、今年度は、東日本大震災からの復興の視点を取り入れ、取組の見直し等を行いました。

以下に、その結果をお知らせいたします。

I 政策の基本 人づくり

1 取組の視点 人をはぐくむ（子ども世代）

重点的取組等	課 題	平成25年度に向けた取組
生きる力をはぐくむ ○確かな学力の育成	・新たな学力向上システムの構築	【学力向上システムの構築】 子ども一人ひとりの学力向上をきめ細かく支援し、更なる学力向上を図ることができるよう、市町村と連携しながら、すべての子どもを対象とした学力調査を実施し活用することで、子ども一人ひとりの学力を把握し、学習指導を充実させるなど、本県独自の総合的な学力向上システムを構築する。 とちぎ学力向上推進事業費（とちぎっ子学力アッププロジェクト） 34,846千円

2 取組の視点 人を活かす（若者世代～大人世代）

重点的取組等	課 題	平成25年度に向けた取組
多様な能力を活かす ○マッチング機能強化 ○県民協働の仕組みづくり	・とちぎ地域力創造プラットフォームによる協働の推進	【県民協働による社会貢献活動の促進】 社会貢献活動の一層の促進を図るため、NPO、企業、地域団体、大学等の新たな“公”の担い手による、地域づくりなど様々な課題解決に向けた話し合いの場である、「とちぎ地域力創造プラットフォーム」の全県的な活用や定着を図る。 社会貢献活動促進事業費 19,160千円

3 取組の視点 人を活かす（シルバー世代）

重点的取組等	課 題	平成25年度に向けた取組
知恵と能力を活かす ○社会参加の仕組みづくりや交流機会の確保	・高齢者の社会参加促進	【高齢者の社会参加の推進】 高齢者がより生きがいを持って社会参加することができるよう、技能や資格、特技等を地域活動に活かしたいという高齢者と、そのような人材を求めている団体・個人とのマッチングを行う仕組みを構築するため、検討委員会の開催やニーズ調査を実施する。 高齢者社会参加推進事業費 4,432千円

II 重点戦略 暮らしを支える安心戦略

1 プロジェクト 安心の子育て環境づくりプロジェクト

重点的取組等	課題	平成25年度に向けた取組
<p>子どもを守りはぐくむ体制づくり</p> <p>○地域における子どもの見守り体制の整備促進</p> <p>○家庭的な養育環境の整備</p>	<p>・児童養護施設退所児童等のアフターケアの充実</p>	<p>【退所児童等の社会的自立支援】</p> <p>児童養護施設や自立援助ホームが、協働によってきめ細かく退所児童等を援助する仕組みを構築し、生活や就業に関する相談支援や退所児童等が相互に意見交換や情報交換を行う自助グループの育成支援を行うとともに、困難な状況に直面した退所児童等への住居、就労、生活資金等に関する支援を行う。</p> <p>退所児童等社会的自立支援事業費 14,416千円</p>

2 プロジェクト 地域でつくる福祉環境プロジェクト

重点的取組等	課題	平成25年度に向けた取組
<p>地域における支え合いの推進</p> <p>○地域住民による支え合い体制構築</p> <p>○相談支援体制の充実</p>	<p>・認知症対策の推進</p>	<p>【認知症対策の推進】</p> <p>認知症患者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、認知症医療の拠点である認知症疾患医療センターの拡充、早期診断や早期対応による初期段階からの適切なサービスの提供、認知症サポーターの養成促進、コールセンターの充実等を図る。</p> <p>認知症総合対策推進事業費 23,208千円</p>

3 プロジェクト 元気で健やかな暮らし実現プロジェクト

重点的取組等	課題	平成25年度に向けた取組
<p>長寿社会における健康づくりの推進</p> <p>○県民一人ひとりが食生活や運動等を通じた健康づくりに取り組みやすい環境の整備</p>	<p>・社会全体で個人の健康を支え合う環境づくりの推進</p>	<p>【健康長寿とちぎづくりの推進】</p> <p>健康長寿とちぎの実現に向け、条例の制定をはじめ、健康長寿とちぎ県民運動を展開することによって、県民一人ひとりが、自らの健康づくりに努めるとともに、企業や民間団体等が健康づくりに関与しやすい仕組みを構築するなど、県民総参加による生活習慣の改善や健康づくりを支える環境整備を推進する。</p> <p>とちぎの健康づくり推進事業費 138,524千円</p>
<p>地域で安心できる医療の確保</p> <p>○在宅医療体制の充実</p>	<p>・在宅医療体制の充実</p>	<p>【在宅医療の提供体制の充実】</p> <p>県民誰もが住み慣れた家庭や地域において、病気や高齢になっても安心して生活ができるよう、訪問看護ステーションなど在宅医療実施機関の基盤整備を促進するとともに、在宅医療推進支援センターの設置や在宅医療チーム等の構築支援、がん患者の在宅医療の受け皿となる医療機関等の育成促進を通じ、地域に密着した連携体制の構築を図る。</p> <p>在宅医療推進事業費 86,892千円</p>

Ⅲ 重点戦略 明日を拓く成長戦略

プロジェクト パワーアップとちぎプロジェクト

重点的取組等	課題	平成25年度に向けた取組
戦略的な企業誘致の推進 ○地域経済への波及効果が大きい企業の県内への立地促進 ○既立地企業のさらなる定着の促進	・企業の立地及び定着促進のための支援策の検討	【企業の立地や定着促進のための支援策の充実】 企業誘致の地域間競争が激しさを増していることから、企業のニーズや投資の動向を的確にとらえ、補助対象となる立地区域の見直しや、県内に立地している企業が行う再投資に対する補助要件の緩和など、企業の立地や定着促進のための支援策の充実を図る。 戦略的企業立地促進事業費 900,000千円 産業定着集積促進支援事業費 300,000千円

Ⅳ 重点戦略 未来につなぐ環境戦略

プロジェクト 環境を起点とする活力の創出プロジェクト

重点的取組等	課題	平成25年度に向けた取組
環境にやさしいエネルギーの地産地消の挑戦 ○再生可能エネルギーの利活用の促進	・再生可能エネルギーの利活用促進策の検討・実施	【再生可能エネルギーの導入促進】 東日本大震災を契機に、電力等エネルギーの安定供給の確保が大きな課題となっている中、平成24年7月に固定価格買取制度が施行され、太陽光、小水力、バイオマス等の再生可能エネルギーの一層の導入促進を図る必要があることから、県有施設の太陽光発電「屋根貸し」事業の拡充、小水力発電の有望地点の調査・選定などに取り組むほか、市町村の取組を促進するための助成制度を創設する。 再生可能エネルギー導入促進事業費 2,766,705千円

重点戦略マネジメントとは

県では、「新とちぎ元気プラン」を着実に推進するため、プランに掲げた成果指標の目標達成に向けた進捗度合いや県民満足度調査の結果等を参考に取組の評価を行い、翌年度の予算編成等に向けて、必要な見直しや新たな対応策の立案を行い、その結果を県民の皆様に公表することとしています。